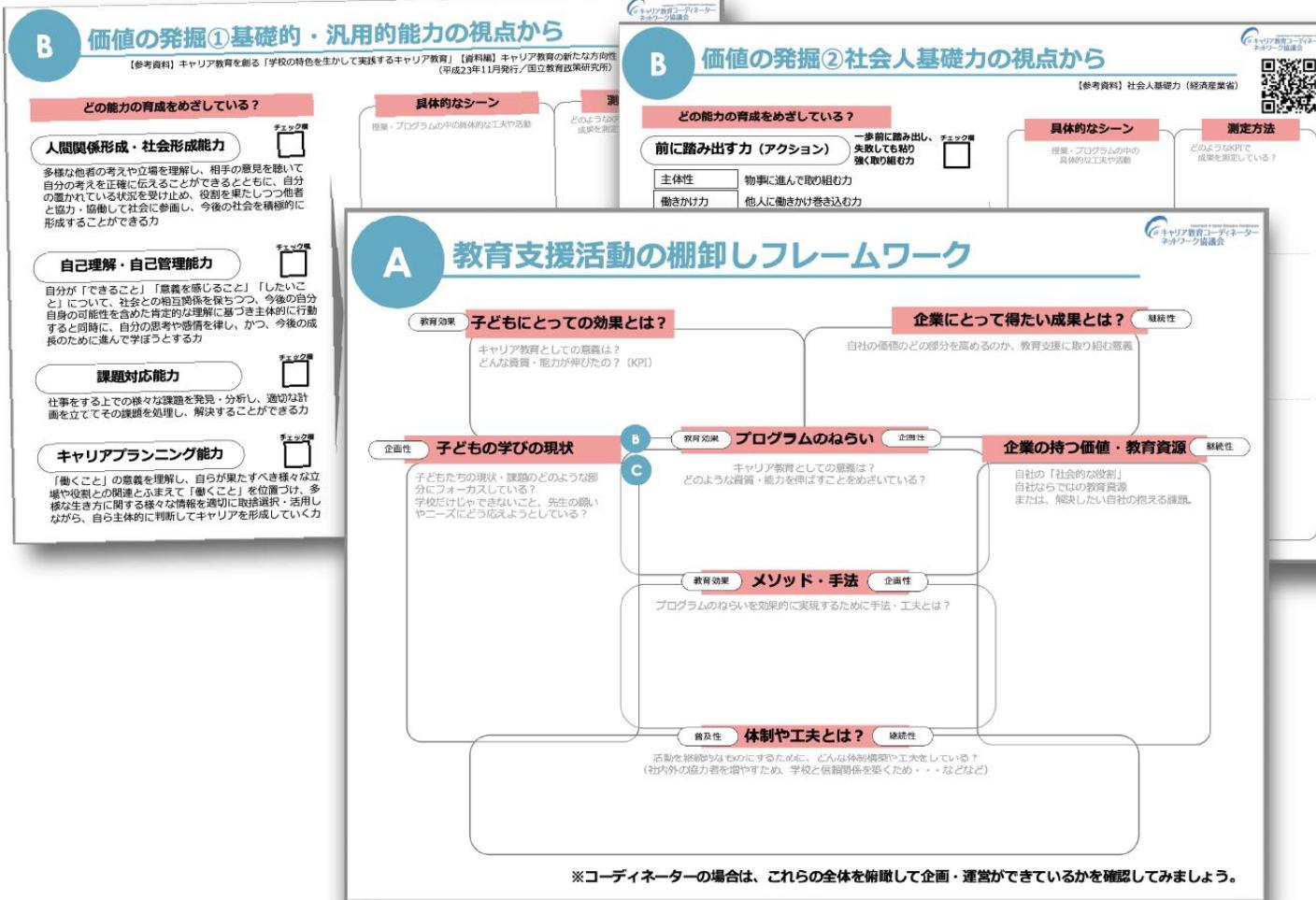


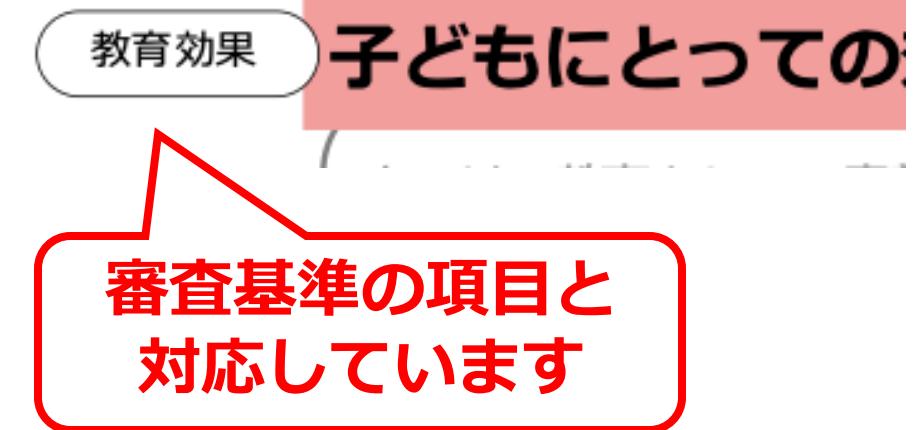
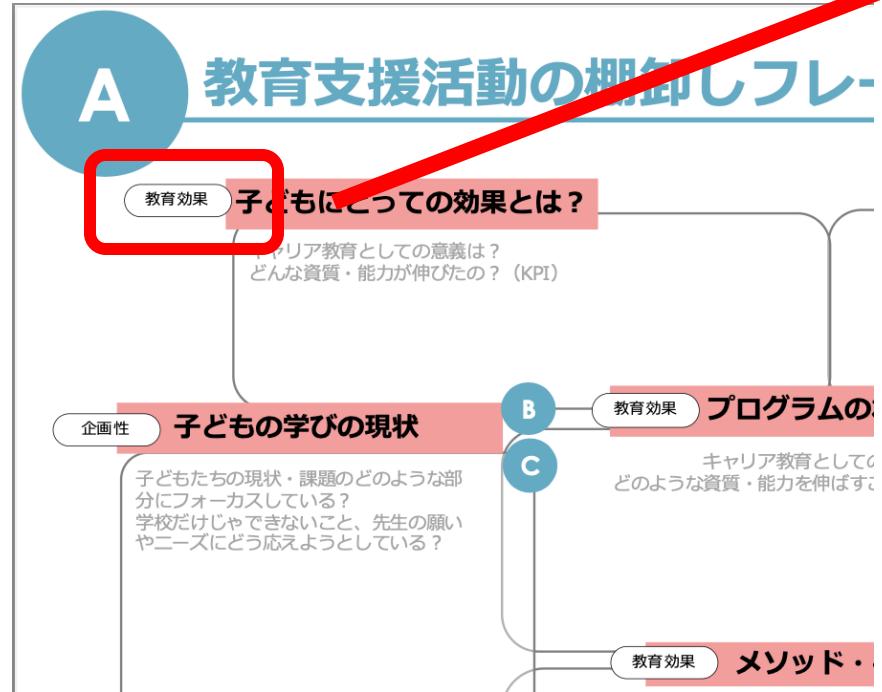
エントリーシート
記入の“準備”

自社の活動の価値を
発掘＆見える化する

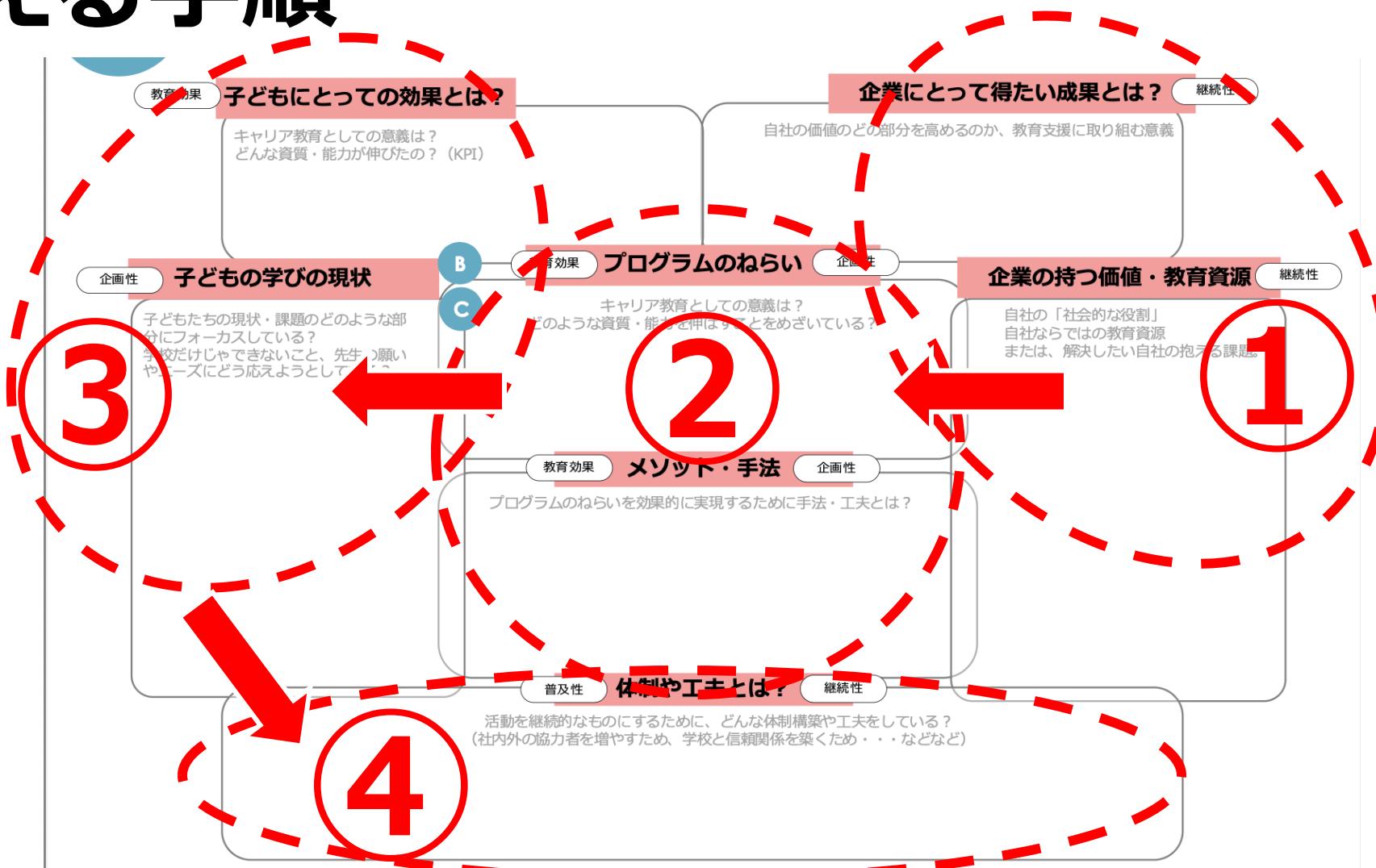
準備するもの

ここからダウンロード→





考える手順



①背景とリソース（継続性の裏づけ）

企業にとって得たい成果とは？

継続性

の価値のどの部分を高めるのか、教育支援に取り組む意義

企画性

企業の持つ価値・教育資源

継続性

自社の「社会的な役割」
自社ならではの教育資源
または、解決したい自社の抱える課題。

●なぜ取り組んでいるの？

- ・企業市民としての責任を果たす
- ・企業や業界のイメージ向上
- ・商品サービスのPR
- ・長期的な人材育成／人材確保
- ・社内の人材育成

実施する理由

継続すべき理由

どのがいちばん近い？

●うちの会社ならではの強みや教育資源って？

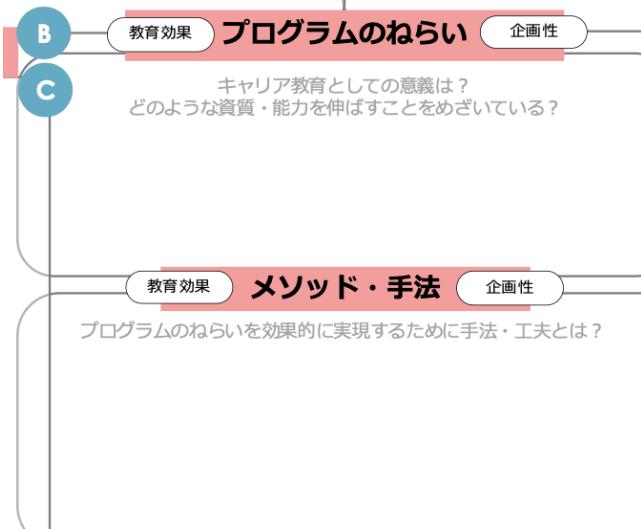
- ・業界の社会的意義や役割とは？
- ・企業の社会的意義や役割とは？
- ・仕事のおもしろさとは？
- ・自社にしかない技術や知識とは？
- ・働く人のこだわりとは？

（企業理念がどのような行動に現れる？）

教育プログラムに
活かされていたら
他にはない強み！

②教育プログラムの企画性

ここでは事例で
説明します



●ねらいと方法は? (ゴールとメソッド)

例) 土木・建築のお仕事体験プログラム



ねらい

「つくる前に考えることが大事」と実感できること

方法

完成したイスを観察して
設計図をつくるワーク

●ねらいと方法は一致している?

例) このプログラムの場合、
方法が「イスを組みたてる」ではねらいに合致しない。

出典: シゴト小学校 (株式会社ax-factory)

<https://shigoto-school.jimdofree.com/programs-1/>

教育効果を「教育の言葉」で語る！

基礎的・汎用的能力や社会人基礎力と照らし合わせ、どれに該当するかを整理してみましょう。

B 価値の発掘①基礎的・汎用的能力の視点から

【参考資料】キャリア教育を創る「学校の特色を生かして実践するキャリア教育」【資料編】キャリア教育の新たな方向性（平成23年11月発行／国立教育政策研究所）

どの能力の育成をめざしている？

- 人間関係形成・社会形成能力
- 自己理解・自己管理能力
- 課題対応能力
- キャリアプランニング能力

具体的なシーン

授業・プログラム

測定方法

チェック欄

QRコード

C 価値の発掘②社会人基礎力の視点から

【参考資料】社会人基礎力（経済産業省）

どの能力の育成をめざしている？

- 前に踏み出す力（アクション）
- 考え方（シンキング）
- チームで働く力（チームワーク）

具体的なシーン

授業・プログラムの中の具体的な工夫や活動

測定方法

どのようなKPIで成果を測定している？

一步前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力

物事に進んで取り組む力

他人に働きかけ巻き込む力

目的を設定し確実に行動する力

疑問を持ち、考え方

現状を分析し目的や課題を明らかにする力

課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力

新しい価値を生み出す力

多様な人々とともに、目標に向かって協力する

発信力

傾聴力

柔軟性

情報把握力

規律性

ストレスコントロール力

相手の意見を丁寧に聴く力

自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力

社会のルールや人の約束を守る力

ストレスの発生源に対応する力

チェック欄

チェック欄

チェック欄

QRコード

測定方法（KPI）もはっきりしてきますね

③子どもたちへの教育効果

教育効果

子どもにとっての効果とは？

キャリア教育としての意義は？
どんな資質・能力が伸びたの？(KPI)

企画性

子どもの学びの現状

子どもたちの現状・課題のどのような部分にフォーカスしている?
学校だけじゃできないこと、先生の願いやニーズにどう応えようとしている?



● どんな効果が出ている？

- ・アンケートの指標
- ・アンケート結果
- 一定量的な分析
- 一定性的な分析

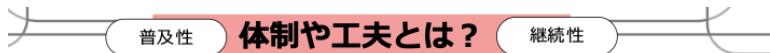
プログラムのねらいと
方法が明確なことが前提に
(②と連動します)

● どんな現状や課題に貢献している？

- ・多様な大人に会える
- ・地域の産業を知る
- ・〇〇力の育成
- ・など

企業の強みや
教育資源が
活ける部分！
(①と連動します)

④継続のための工夫・体制



活動を継続的なものにするために、どんな体制構築や工夫をしている?
(社内外の協力者を増やすため、学校と信頼関係を築くため・・・などなど)

●続けるためにどんな工夫をしている？

- ・社内での仲間づくり
- ・ノウハウの蓄積と共有
- ・マニュアル、フローの整理
- ・社内外への情報発信
- ・教育プログラムを改善しつづける仕組み
(観点と方法)

“やりっぱなし”に
しない！

エントリーシートに記入！

チェック ポイント

- ①なぜ取り組んでいるのか
論理的なストーリーで語っているか
- ②なぜそう言えるのか
主張に対する根拠を客観的に示しているか
- ③どんな教育効果があるのか
キャリア教育の言葉で語っているか